

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道上富良野町 上富良野町立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	5	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
10,110	3,708	第2種該当	-	10:1

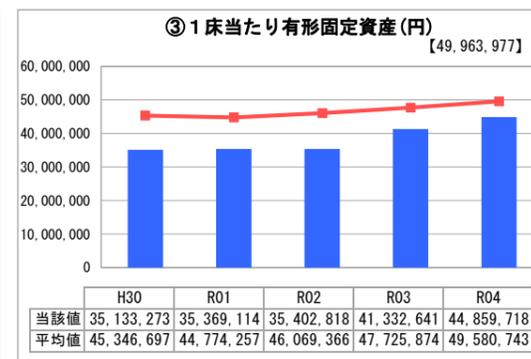
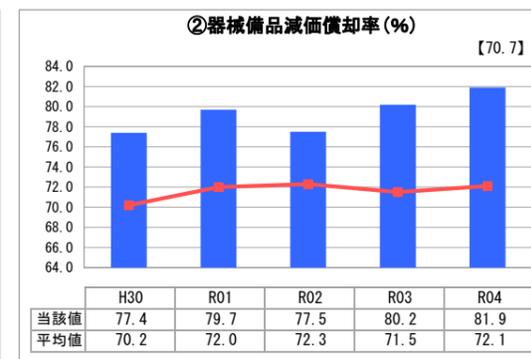
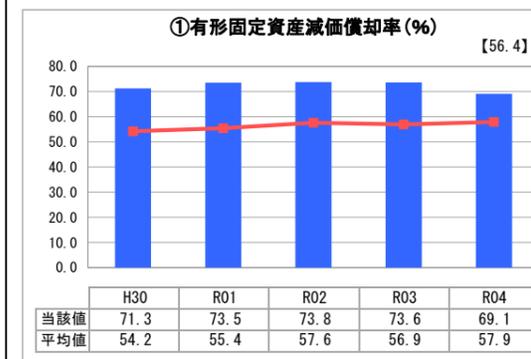
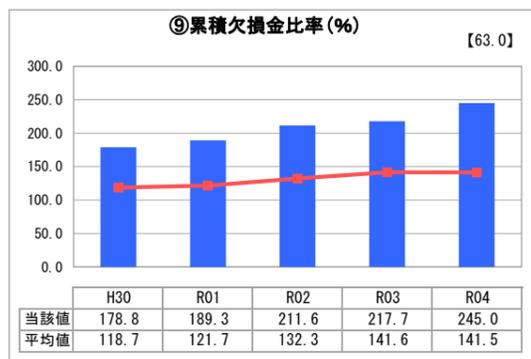
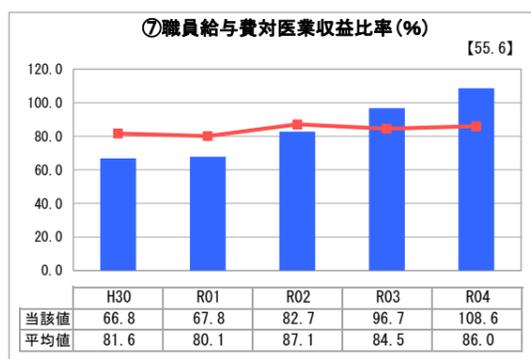
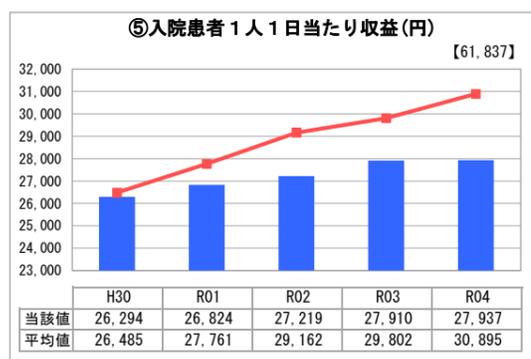
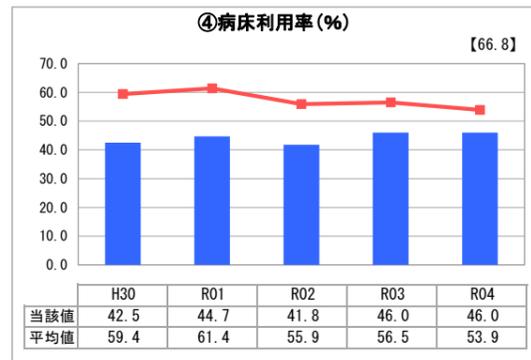
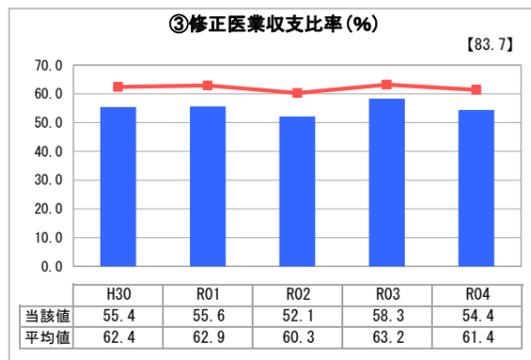
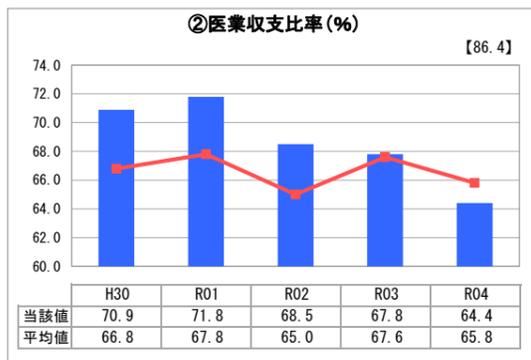
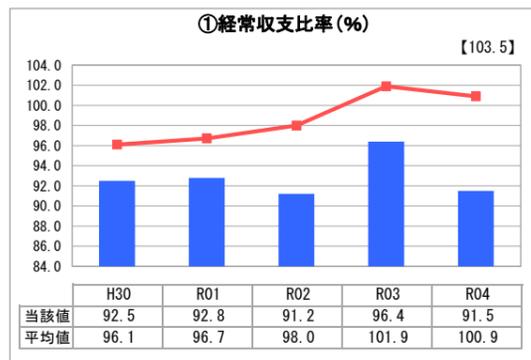
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
39	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	39
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
26	-	26

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

当町立病院は、町内唯一の有床病院として、入院、外来、救急医療を担っております。また、公衆衛生活動として、特別養護老人ホームへの診療、予防接種、特定健診の実施、併せて介護保険施設を併設しており、地域医療の核となる医療機関となっております。また、富良野広域医療圏の救急指定病院2病院の一つであり、慢性疾患から救急に至るまで、2次、3次医療圏のゲートキーパーとして、圏域においても大きな役割を担っております。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度は、医師不在による影響を受けて診療の制限を行うなど医業収益が前年度対比で下回り、一方、病院運営に要する費用においては物価、価格の著しい上昇を背景に増加したことから経常収支比率が約5.0ポイント下がるなど健全経営の水準に及ばず、このほか医業収支比率、累積欠損金比率などの各指標においても改善に至っていない現状にあります。

病床利用率は前年値を維持したものの、入院及び外来患者1人1日当たりの収益が平均値を大幅に下回っていることから、収支構造に課題があり、効率性を高める取組が早期に求められている。

2. 老朽化の状況について

現在、令和7年6月開院に向けた新病院の改築工事が進められています。有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率は平均値と比較して大きく上回り、資産価値の低下につながっていますが、今後病院の改築に合わせ、償却資産の計画的な更新を進めてまいります。

全体総括

経営状況は、ここ数年赤字決算が続き、累積の欠損金が増加している状況にあり、今後も病院改築事業の償還や電子カルテ導入などの大型投資も控えていることから診療体制、病床数見直しを含めた構造的な取組の改善を新たに策定した経営強化プランに基づき行わなければなりません。地域医療の核として地域に必要な役割を果たすため、現在の医療水準を維持しなければならず、経営の安定化につながる収支改善の取組が喫緊の課題と言えます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。